

KSKP

たびだち つうしん

出

発

通

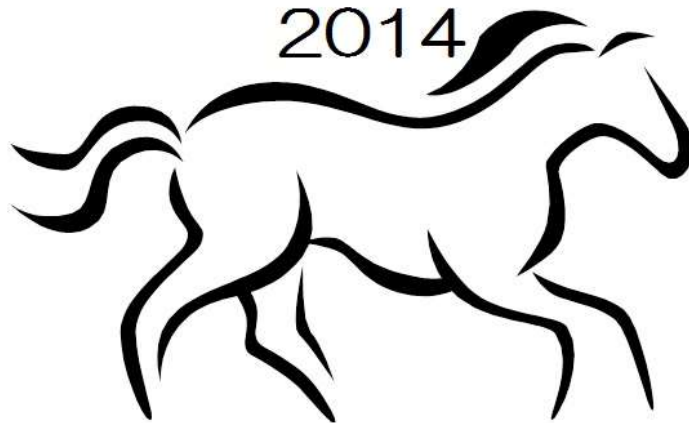
信



NPO法人 出発のなかまの会

150号

HAPPY NEW YEAR
2014



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物認可
毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

目次

生きにくさは自分たちの力 <small>じぶん ちから</small> でかえられる	2
ILPに終わりはない~もっとわたしらしく生きるために~ <small>お</small>	3
どんどん新聞111号より <small>しんぶん ころ</small>	4
サンマ祭りをしました <small>まつ</small>	5
子育てスタッフ日記 <small>こそだ にっき</small>	6
私たちは地域で暮らしているんだ <small>わたし ちいき く</small>	7
助成金事業完了報告 <small>じよせいぎんじぎょうかんりようほうこく</small>	7
活動のあと <small>かつどう</small>	8



い じぶん ちから
生きにくさは自分たちの力でかえられる

東日本大震災の後も大きな災害が次々に起こっている。それに対する国・自治体の対応を見ると、政治・行政への期待は裏切られ続け、失望は怒りへと変わってきている。社会の状況の好転は見え、改善は遅々として進まない。どうすれば今の生活が楽になるのか、なぜ生活の豊かさは実現されないのか歯がゆいばかりである。

少子高齢化社会に向けてさまざまな福祉施策が次々と施行されている。法律の名前は変わり、施策の数は増えているが現実の生活の厳しさに変化は見えない。虐待、いじめ、ひきこもり、自殺、不就業、失業、ホームレス等々社会問題としてカテゴリー化され、一人ひとりの生活はまったく見えないままに、生きにくさを抱えた人の数だけが毎日のようにマスメディアで報道される。

ここ数年、私たちは自分たちが住む生野区において民間の福祉事業所を中心に地域共生の社会を目指すネットワーク作りを積極的に推進してきた。情報を共有し、人と人がつながっていく中で、さまざまな問題への共通の認識・アプローチが少しずつではあるが進んできている。しかしながら、そのネットワークの力はまだ十分には機能していない。法律で定められ、行政によって提供されるサービスシステムには、初めから不備があり多くの方がセーフティーネットでも救済されることはない。そればかりかその網の目から落ちこぼされた人は声もあげられず、また声を聴かれることもなく暗黙のうちに排除され、孤立させられ難民のような状態のままに地域社会の中に置き去りにされている。



今私たちはネットワークのつくり方から変えることを求められている。民間の福祉事業所が国の法律に基づき行政機関の下請けのような仕事をしている限り、課題が見え問題に対処しようとしてもその解決には程遠い。社会を覆う閉塞感の中でなんとなくわかったような中途半端な理解ではなく、何がおかしいのか何が分からないのかを知り、考え、行動する必要がある。私たちは今こそ地域に住む市民とともに生きにくさを抱えた人たちの参加を呼びかけネットワークを再構築し、社会政策への提言だけでなく、自分たちが住む地域のことは自分たちで決定し実行できると認識し、実践活動を行っていききたい。

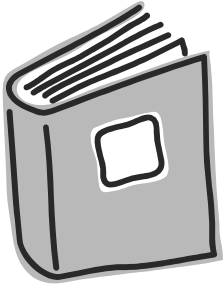
当会では認定NPO法人の活動として法律やサービスの谷間に置かれた生きにくさを抱えた人への支援活動を継続していきます。

(イタル・T)



ILP に終わりは無い～もっとわたしらしく生きるために～

10月に自立センター・どんどん（以下「どんどん」と記す）で10年来取り組んできたILP（わたしらしく生きるためのプログラム）のハンドブックが完成しました。「やればどんどん力がわいてくるILP新生活応援編」は、『ひとり暮らし』をしたいと思っている主人公がILP新生活応援編を受講して、考えたり悩んだりしながらも自分らしい暮らしを探していく物語



です。ハンドブックにはコピーして使える付録がついており、ILPを「やってみたい」「始めたい」と思い立ったらすぐに始められるように工夫をしています。同時に、ILPの良いところ面白いところが「ギュッ」とつまんだ支援者向けのハンドブックも作成しました。ILPを実践するうえで必要な理念の理解と、プログラムを実践するなかでの支援の工夫を満載しています。

ところで、ILP (Independent Living Program) は一般的には「自立生活プログラム」と訳され、自立生活に必要な生活スキルを障害当事者同士で学び合うプログラムと考えられています。本ハンドブックでも大筋ではこの一般的な解釈に拠っています。しかし、「自立」の考えかたについては疑義をもたずにはいられません。というのも、ハンドブックを作成する過程で、これまでに「どんどん」がおこなってきたILPを振り返ってみると、従来の「自立」観では知的な障害をもつ人の「じりつ」を十分に捉えきれていないと考えたからです。編集委員会で議論を重ねたうえで、最終的にILPを「わたしらしく生きるためのプログラム」であると再定義しました。

11月に大阪で開催したピープルファースト大会には1,000人を超す参加者があり、交流会も800人という大規模なものでした。「どんどん」は大会2日目に「ILPおしゃれ編」をテーマにした分科会をもちました。参加者は30名を超えました。この分科会で初めて化粧をした人もいました。おしゃれをしてモデル気分でカメラマンに写真を撮ってもらおうという企画だったので、自己紹介の時には最初は緊張して顔を上げられなかった人も、時間の経過とともに笑顔になって、写真撮影の時には素敵な笑顔でポーズをとっておられたのが印象的でした。

ILPの成果は一朝一夕に出るものではありません。しかし、ILPを通じてメンバーたちは確かに力をつけてきました。だからこそ、ILPをハンドブックにしてもっとみんなに知ってほしいと思いました。ILPが全国の仲間たちにひろまるように、今後は「どんどん」のメンバーと一緒に出張講座などを展開していきたいと考えています。ハンドブックやILP出張講座のお問い合わせは、お電話06-6754-3011（担当イシイ）までご連絡ください。最後に、ハンドブックは2012年10月に実施された共同募金配分金を受けて作成しました。皆様のご協力に感謝します。

（カオリ、1）

しんぶん
どんでん新聞

No.111 から抜粋して掲載しています



はっこうび ねん がつ にち
発行日 2013 年 10 月 28 日

はっこうしゃ じりつせいかつ
発行者 自立生活センター・どんでん

おおさかしいくのくたじま
大阪市生野区田島 1-10-30

tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749



たいふ たいふ
対府オールラウンド交渉に行ってきました

ねん がついつか げつ がつむいか か
2013 年 8 月 5 日(月)~8 月 6 日(火)

ほしよ あさひくみん にしくみん
場所: 旭区民センター(8/5)・西区民センター(8/6)

◆ いりかげんにしいや!

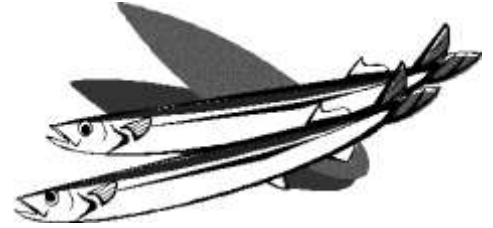
ことし たいふこうしょう さんか
今年も対府交渉に参加しました。かいじょう
会場には、たくさんのとうじしゃ さんか
当事者が参加し、おおさから たい おこ
大阪府に対して怒
っていました。いつかかぜん こうしょう
5 日午前の交渉は、しょうがいしゅしきくぜんばん かいご
障害者施策全般、介護についてでした。K・S さん、T・
K さん、O・T さん、K・N さんがさんか
参加しました。かいご
介護では、ヘルパーさんといっしょ いざかや りょこう
一緒に居酒屋や旅行
に行ったらダメといわれたりして、いきさき せいげん
行き先を制限されることがあることです。K・S さんは、
「ヘルパーさんといっしょ りょこう い
一緒に旅行に行きたい。いっしょ
一緒やなかったらこま
困る!」とうった
訴えました。ほか
他の
とうじしゃ ひと
当事者の人たちも「そうだ! そうだ!」といっしょ
と一緒にいっしょ
なって怒っていました。おおさから けんとう
大阪府は、「検討し
ます」といって
います。T・K さんも「ヘルパーさんといっしょ いざかや い
一緒に居酒屋に行きたい」とうった
訴えま
した。O・T さんと K・N さんも
おうえん
しっかりと応援していました。

ここ にゅうしょしせつ ちいまいこう
午後からは入所施設、地域移行でした。K・K さん、Y・S さん、Y・A さん、O・N さん、
K・Y さん、K・S さんがさんか
参加しました。グループホーム、じゅうたく
住宅については Y・H さんもさんか
参加
しました。K・Y さんは“グループホームにこべつ
個別のヘルパーさんがこ
来なかったらいっしょ
一緒にカード
をかい
か
買いに行けなくてこま
困る”とつた
伝えました。おおさから がおがた
大阪府は、大型のグループホームをつく けいかく
を作る計画がある
とい
言いました。K・K さん、K・S さんは「そんなんやったら、しせつ いっしょ
施設と一緒や! す
好きなとき す
好きな
なことができないのは、おかしい」「はなし
話をゆっくりき
聞いてもらえないとこま
困る。」おな
「同じことばか
りい
い
言わせて、かんが
ちゃんと考えるのか!」とおこ
と怒りながらアピールしました。

むいか こうしょう かいじょう にしくみん
6 日の交渉の会場は西区民センターでした。N・Y さんがこうつう さんか
交通で参加しました。もんだい
問題にな
ったのは、えきいん
ホームに駅員さんがいないえき ぶ
駅が増えることです。このままでは、とうじしゃ かがた
当事者の方々が
がいしゅつ
外出しにくくなります。N・Y さんは「えきいん
駅員さんいない! あかん!」とい
い
言って怒りました。おおさから
大阪府
に、わたし
わたしの
私たちのい
怒りがつか
伝わったことをいの
祈ります。これから、どんでんは たたか
闘うぞ!

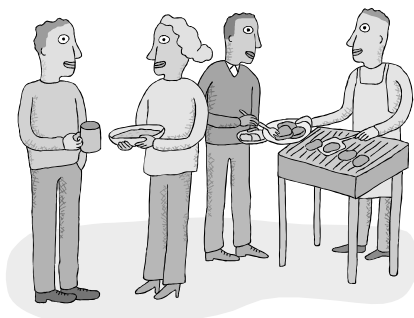
サンマ祭りを行いました

10月5日、岩手県の宮古から旬の幸、サンマとホタテを仕入れて地域交流と被災地支援を兼ねた「サンマ祭り」を実施しました。『サンマを食べて被災地を応援しよう!』と地域共生ケア生野推進委員会共催のもと地域の方を招き、協力金はカンパ代として東北の被災地(宮城県南三陸町のNPO法人「奏海の杜」、「被災地障がい者センターみやこ」)に寄付させていただきました。



スタッフの知り合いの方から竹炭を提供していただき、各グループホームから借りたバーベキューコンロでサンマとホタテを焼くことになり、上手くできるように事前に焼く練習とつみれ汁の試作もして本番に臨みました。

当日は雨が心配されましたが、何とか雨も降らずに予定通り野外で焼くことができました。サンマとホタテを焼く煙に包まれながらどんどんサンマを焼いていって、仕入れたサンマ100匹も完売しました。ホタテも立派な大きさとボリュームがあり、つみれもふわふわで柔らかくてとても好評で旬の味を満喫できました。ご近所の方も顔を出してくれ、「頑張ってるな!」と声をかけてくれ家族の分のサンマを注文してくれた方、「匂いにつられてきたわ〜」と足を延ばしてくれた方などたくさんの方に足を運んでいただけました。当会のメンバーも昼からビール片手にサンマを食べてご機嫌の人、サンマを焼くのを団扇であおいで手伝ってくれる人、「いらっしゃい」と呼び込んでくれる人、たくさん食べてくれる人とそれぞれの形で参加してくれました。



また、皆さんに振る舞ったおにぎりは同じ生野区のNPO法人・フェリスモンテさんより提供していただきました。他にも開催場所のグラウンドを提供していただいた団体、仕入れたサンマを100匹購入していただいた団体等、各方面の方々からのたくさんの協力とサポートのもと実施できました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

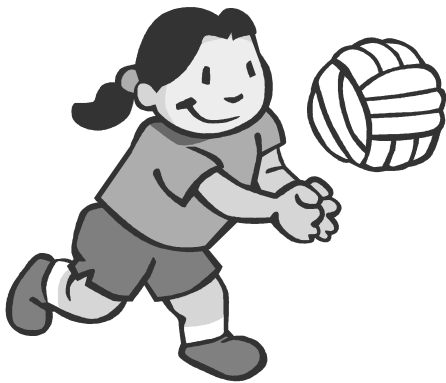
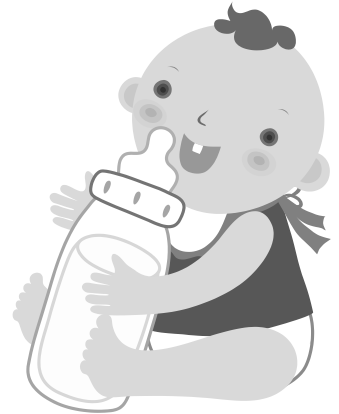
今回のサンマ祭りが被災地支援を考えるきっかけとなり、様々な分野の方々とは結びつき、一緒にできることを考えたり提案したり発信して応援し続けていけるようになればと願っています。まさにサンマのように大きな群れとなって支援していけるように自分自身も、このつながりを大切にして自分ができることを自分で考え行動に移していきたいと思っています。

(ミノル・T)



こそだ にっき
子育てスタッフ日記

2006年発行「出発通信128号」の子育て日記で記事を書かせていただきました、バタバタかあちゃんです。記事を書いたのは、次女出産後、育児休業を終えて職場復帰して間もなくでした。2人分の保育園の準備と恐ろしい量の洗濯物と夜中のミルク作りで、ちゃんとした睡眠時間がとれずフラフラだったことを思い出します。当時5歳だった長女は中学一年生になり、バレーボール部に入部しました。未来の竹下選手を目指し、毎日夜遅くまでセッターになるために練習を頑張っています。8か月だった次女は小学3年生になり、と



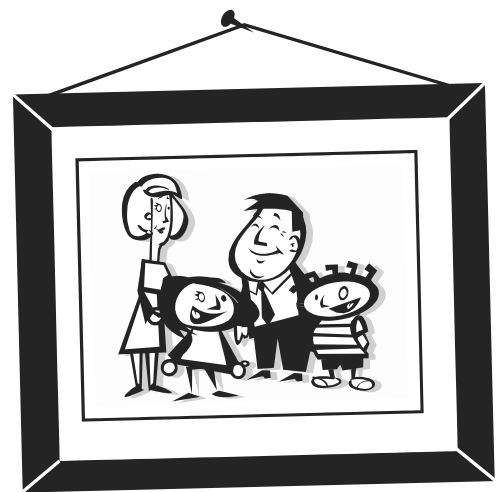
てもマイペースでユニークな子に育ち、面白ネタが切れることはありません。スイミングでは、背泳ぎをすると沈んでしまうようで、お風呂で特訓中です。

長女の何度目かの反抗期のことや、次女のあまりにもものんびりした性格のことなどなど、日々悩みは尽きず、毎日のように「いいかげんにしいや！」と怒ってしまうガミガミかあちゃんにも関わらず、7年前「だってママ大好きやもん」

「マンマ～」と追いかけてくれていた娘たちは、今も変わらず「ママ大好きやねん」と抱きついて来てくれます。テレビを見て泣いているとティッシュペーパーを持ってきて、慰めてくれます。私の好きな俳優さんの出演番組は、言わなくても録画しておいてくれます。手抜き料理も「ママが作ってくれたからおいしい！」と言って食べてくれます。そんなかあちゃん想いの娘たちに感謝です！

父がグループホーム勤務になり、娘たちも自分の世界を持ち、ずっと何でも家族全員で行動していた我が家でしたが、暮らしの形が変わりました。みんなで一緒に出掛けることが少なくなり、さみしさも感じますが、いつも見守っていることだけは、娘たちに伝え続けたいと思う今日この頃です。

(ヨシミ、1)





わたし ち い き く
私たちは地域で暮らしているんだ

たいけん に ゆうきょ へ さくねん がつ に ゆうきょ に入居された I さん。はじめの頃は、自発的な
 げんどう ほとんど とつぜん な だ こと と泣き出す事がしばしばありました。見知らぬ家で見知ら



ひと とつぜんせいかつ はじ その時の I さんの不安や緊張は
 はか し じかん ふあん きんちよう じょじょ と
 計り知れません。それでも、時間が I さんの不安や緊張を徐々に解き
 ほぐし、欲しい物や行きたい場所、自分の希望を支援者に伝えたり、
 こきゅう て き しんばい わら すがた
 呼吸が出来ているのか心配になるくらいに笑いこけたりする姿が
 み
 見られるようになりました。

さいきん さぎょうしょ かえ みち きつさてん よ みち たの
 最近では、作業所からグループホームへの帰り道にコンビニや喫茶店に寄り道をするのが楽
 しみになっています。特に喫茶店「WA」がお気に入り、で、「コーヒーないの〜?」「コーヒー屋
 さん休み」と、独特の言い回しで「WA」に行きたいと表現されます。「行く?」と聞くと、
 やす ひとつとく い まわ わ い ひょうげん い き
 しばらく間を置いて「い…行く。」と遠慮がちな返事を返され、笑顔になります。お気に入り
 あいだ お い えんりょ へんじ かえ えが お き い
 の男性スタッフの前では、はにかんだ表情でやり取りを楽しんでいます。

せんじつ だんせい しやうたい
 先日、男性のグループホームに招待され、ハロウィンにちなん
 で、魔女に扮装してお出かけしたのですが、男性陣の反応がイマ
 まじょ ぶんそう で だんせいじん はんのう
 イチでちょっとがっかりだったとか。次はクリスマス、忘年会に
 つぎ ぼうねんかい
 新年会。お食事会やテーマパークへのお出かけも楽しそう。もっ
 しんねんかい しょくじかい で たの
 ともっといろいろな人と接して、いろいろな所へお出かけしたいと
 ひと せつ ところ で
 かんが
 考えています。



(ミカル・K)



じよせいきんじぎょうかんりようほうこく
助成金事業完了報告

こうえきざいだんほうじん ふくしじよせいざいだんさま じよせい きゅうとうせつび
 公益財団法人みずほ福祉助成財団様より助成いただいた、「グループホームのガス給湯設備
 かいしゅうこうじじぎょう かんりよう ほうこくもう あ
 改修工事業」が完了いたしましたのでご報告申し上げます。

活動のあと

第 3 種郵便物認可

9/2	事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議 生野区啓発・研修事業打合せ	11/1	執行委員会/グループホームスタッフ全体会議 名古屋・岡山旅行振り返り会 O さん IFP(個人将来計画)会議
9/3	ひとり暮らし支援委員会/医療的ケア研修 1	11/2	知的障害者(児)が「ド・ヘルバ」養成講座 (生野区自立支援訪問系事業者連絡会)
9/4	K さんケア会議	11/2~3	ピープルファースト大会 in 大阪
9/5	発達障害勉強会 大阪府自立支援協議会地域システム検討会聞き取り調査	11/3	当事者交流 (マジカルハウス柿のたね)
9/6	執行委員会/グループホームスタッフ全体会議	11/5	研修委員会 1 日職員交換研修受入れ(生野区グループホーム連絡会)
9/10	研修委員会/医療的ケア研修 2 /起業セミナー打合せ	11/8	Y さん IFP(個人将来計画)会議/甲南大学講演(どんどん)
9/11	K さん応援会議	11/8~16	日韓障がい者美術展出品
9/12	生野区自立支援訪問系事業者連絡会 生野区学童期の子ども支援を考える情報交換会	11/9	知的障害者(児)が「ド・ヘルバ」養成講座 (生野区自立支援訪問系事業者連絡会) 講座講師(どんどん)
9/13	障大連事業所ネットワーク新人研修 ILP 冊子プロジェクト委員会	11/11	成年後見推進委員会
9/13~14	名古屋旅行	11/12	大阪市オールラウンド交渉事前学習会 生野区啓発・研修事業打合せ 1 日職員交換研修実施(地域共生ケア生野推進委員会)
9/15	みらくるクラブ(木のおもちづくり)	11/14	執行委員会/生野区自立支援訪問系事業者連絡会
9/17	苔盆栽作り/生野区啓発・研修事業打合せ	11/15	大阪市オールラウンド交渉①/WA ロン
9/18	出発通信発送作業 児童発達支援・放課後等デイサービス連絡会 みらくるクラブ検討会/北海道旅行報告会 障大連グループホーム世話人研修会	11/16	知的障害者(児)が「ド・ヘルバ」養成講座 (生野区自立支援訪問系事業者連絡会) 講座実習講師(どんどん)
9/19	AS(アクティブサポート)学習会 WA ロン/医療的ケア研修① O さん IFP(個人将来計画)会議	11/17	みらくるクラブ(運動会)【長居公園】
9/24	かのおんチーム会議/作業所ミーティング 北海道旅行振り返り会 さらら親の会 さららチーム会議	11/20	発達障害勉強会/ほうぶ運営会議 生野区グループホーム連絡会世話人会 生野区学童期の子ども支援を考える情報交換会
9/25	N さん IFP(個人将来計画)会議	11/21	和楽若荘チーム会議/しまなみサイクリング旅行報告会 地域共生ケア生野推進委員会
9/27	Y さん IFP(個人将来計画)会議 お月見会(桃栗館)/医療的ケア研修② 地域共生ケア生野推進委員会 子ども社会臨床研究会学習会	11/22	ポジティブ生活文化交流祭前夜祭 被災地障害者報告会&交流会
9/28	ILP 冊子プロジェクト委員会	11/23	第 4 回東北⇄関西ポジティブ生活文化交流祭出店 和歌山大学講演(どんどん)
9/30	事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議	11/25	事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議
10/2	すきっぷのサービスをよくする会議 ホットメールなにわ	11/26	P さん IFP(個人将来計画)会議
10/3	どんどんプロジェクト会議	11/27	すきっぷのサービスをよくする会議/起業セミナー打合せ 1 日職員交換研修受入れ(生野区グループホーム連絡会)
10/4	I さん IFP(個人将来計画)会議 グループホームスタッフ全体会議 地域共生ケア生野推進委員会役員会	11/28	I さん IFP(個人将来計画)会議/作業所ミーティング
10/5	サンマ祭り(被災地支援)	11/30	とんぼまるチーム会議
10/7	執行委員会	12/3	感染症研修①
10/8~12	研修受け入れ(奏海の杜)	12/4	K さん IFP(個人将来計画)会議
10/9	T さん IFP(個人将来計画)会議 生野区グループホーム連絡会	12/6	執行委員会/グループホームスタッフ全体会議 しまなみサイクリング旅行振り返り会 地域共生ケア生野推進委員会役員会
10/10	生野区自立支援訪問系事業者連絡会	12/7	奈良マラソン
10/10~11	岡山旅行	12/9	かのおんガス給湯設備改修工事 (公益財団法人みずほ福祉助成財団助成金交付)
10/11	ILP 冊子プロジェクト委員会	12/10	T さん IFP(個人将来計画)会議
10/11~13	東北被災地訪問	12/10	みらくる学習会/生野区啓発・研修事業打合せ
10/13	平和健康まつり出店	12/11	大阪市オールラウンド交渉②
10/15	ひとり暮らし支援委員会/生野区啓発・研修事業打合せ	12/12	感染症研修②
10/16	苔盆栽作り/O さん IFP(個人将来計画)会議	12/14	鹿背山クラブ(餅つき)
10/17	障大連グループホーム世話人研修会 生野区学童期の子ども支援を考える情報交換会	12/15	みらくるクラブ(餅つき)/大阪障害者自立セミナー2013
10/17~19	しまなみサイクリング旅行	12/16	事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議
10/18	AS(アクティブサポート)学習会/WA ロン	12/17	かのおんチーム会議
10/20	みらくるクラブ(ぶどう狩り)【夕陽の丘観光農場】	12/18	らいすチーム会議/O さん IFP(個人将来計画)会議
10/22	Y さん IFP(個人将来計画)会議	12/20	AS(アクティブサポート)学習会/WA ロン
10/23	K さん応援会議/作業所ミーティング	12/20~21	P さん三重旅行
10/24	桃栗館チーム会議	12/26	作業所ミーティング
10/25	らいすチーム会議		
10/27	職員パワーアップ会議		
10/28	事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議		
10/29	障大連市内ブロック会議		
10/30	すきっぷのサービスをよくする会議 起業セミナー打合せ 生野区自立支援訪問系事業者連絡会		

一九八四年八月二十日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二・二 東興ビル 4 階 頒価百円

へんしゅうこうき
編集後記

あけましておめでとうございます。みなさんはどんな年末年始を過ごしましたか？
すっかり寒くなってきましたが、風邪などひかないようにお気を付けてください。

(シゲヒロ・M)

編集人

とくていひえいりかつどうほうじん たびだち かい
特定非営利活動法人 出発のなかまの会
〒544-0011
大阪市生野区田島1-10-30たびだち共働作業所内
TEL 06-6758-6641
FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080
(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)

Eメール infotabidati@oct.zaq.ne.jp
ホームページ http://www.oct.zaq.ne.jp/tabidati 700 部